

新しい世界建設のための 新しい勢力の誕生



●一九七六年MRA全国大会特集●

十月二日、東京の半蔵門にある東條会館で76年度MRA全国大会が開かれた。

大会第一部では今夏、スイスのコーで開かれたMRAの世界大会に出席したわが国代表の出席報告や、新しいMRAの映画、クロスロード（フランク・ブクマンの生涯）が上映された。また第二部として有志の懇親会が開かれたが、七十余名が参加し、そのほとんどがつぎつぎと起って心からの感想や確信をのべたので第一部に引続いて熱のこもった集会となり、76年度大会は成功裡に幕をとちることができた。まさに新しい世界建設のための新しい勢力の誕生を思わせる一日であった。

映画「クロスロード」は、MRAの創始者フランク・ブクマン博士の幼年時代の思い出から、やがて神の啓示のもとにオックスフォード大学で静かな革命を展開していく姿が、美しい絵と写真で語られていく。第一次大戦、そして第二次大戦という不幸な世界歴史の中で、MRAの発足が徐々にしかも偉大に拡大強化されていく姿をみると、私たち日本人は強い挑戦を感じないではいられないものだった。私たちはそれぞれいろいろな幾多の試練を経験してきたが、新しい日本とアジアと世界の建設のための使命は少しも変っていない。今こそ力を合わせ、互いに助け合い、しめされた正しい道を歩んでいかなければならないことを痛感させられた。

なお、大会には別掲のようなメッセージがアメリカとスイスから送られてきた。お隣の韓国からは催玉子博士が特別参加され一層の迫力をそえてくれた。

この日の司会と進行は、大阪の住友義輝夫妻によって行なわれたが、新鮮で若さに溢れたもので新しい勢力の結集と首途にふさわしいものであった。その人々の言葉をここに要約して大会特集号とした次第である。

司会 (住友義輝氏)

一九七六年MRA全国大会を開催いたします。今日は土曜日の午後という時間でもあり、皆さまにはそれぞれご予約のあるところにも拘わらず遠くからもお集まりいただき有難うございました。

今朝、私は家内と一緒に静聴の時をもっていました。そのとき、この地図のことが頭に浮びました。これは昨年、家内とコーに参りましたとき、MRAのショップで買ったものですが、世界は激しく変わっております、すでにいま現在の世界地図でなくなっています。

世界は神に導かれた人によって導かれなくてはならないということをしみじみ感じます。

昨年の夏以来、インドのパンチガニイ、香港、台湾、オーストラリアや各国からぜひ日本の勢力も世界を真に自由な道義基準にもとづいたものにするため責任をとるよう参加を呼びかけてきました。日本から私はじめ僅かな人がこれに参加しました。

ここ数年、日本から海外にでていく人たちは年間二〇〇万から二五〇万といわれています。人ばかりでなく日本の工業製品

も世界のすみずみまでいっていきます。しかも年率一〇パーセントから二〇パーセントという延率ならともかく、ものによっては一〇〇パーセントから二〇〇パーセント。実に二倍、三倍という勢いででていきます。これは実に大変なエネルギーです。

このエネルギーを世界を再造するコーやパンチガニイの呼びかけに応じて、そういう方向に向けていたけたらと思います。

今年にはコーの三十周年記念の年でした。今までコーには二〇万人以上の人が参加しているといわれています。今年も毎日五百人から八百人もの方が世界中から集まりました。日本からも昨年から今年にかけて三つのチームを含めて一〇〇人近い方が参加できました。

今日はこれからそういう方がた一実際にコーにいつて国際チームの方と一緒に世界再造について話し合った人、神に導かれる世界を造つていこうとMRAの実践をしてきた方がた一のお話を伺いたいと思います。

狩野 安さん

日本の若い人たちにMRAの精神が必要だと思つていたが、一番必要なのは私自身だった。

四つの道義標準に生きることは自分のためばかりでなく、自分の国、世界のために必要だといふことを感じた。

静かに心の声をきく時間をもつということが、忙しければ忙しいほど必要だとしみじみと思ふ。私は茨城県の窓口となつてMRAの発展に寄与したい。

石引 正男氏

はじめてコーの大会に出席した。最初は半信半疑だったが、正直とか愛とか聞いているうちに小さい頃に教わつたことが思いだされ私の心をいれかえる機会になつた。

静かな時間をもつて心の声をきくということを変更して教えられたが、これからは実行し頑張ります。コーではMRAが何であるか肌で感じる事ができた。

遠藤 けい子さん

ミーティングで四つの絶対道義標準について教えられたこと、各国の人びとの熱のこもつた話など心打たれるものでした。アメリカ人と結婚したスイスの女性の話は特に忘れられません。結婚するまで関心がなかつた。

関心のないことはアメリカ人を憎むことより悪いことだといふことに気がついたといつていま

した。私自身考えさせられました。他の国で戦争が起つていようと、その為に多くの人が死んでいようと私は全く無関心でした。また日本はアジアの灯台であるといふことをきいて、アジアの人びと、世界の人びとが日本の協力を求めていることを改めて知りました。今まで、自分が、極くせまい範囲のことだけに目を向けていたことに気づき恥かしく思ひます。コーでの生活は貴重な体験でした。

金森 奈津子さん

私は去年の八月から今年の八月まで、MRAの方たちとくらししました。最初去年の八月MRAをソングオブアジアの方を通じて知りました。日本におりました時、私はせまい範囲の人びとしか知らず、他の人びとのことなどは余り考えない毎日でした。何か自分には欠けていると思つていましたが、それが何であるか自分では分りませんでした。ソングオブアジアの同じ年代の人を通してMRAを知り、MRAの精神が私にもっとも大切であり、大きな生活目標であることを知りました。ソングオブアジアの方々はちがつたバックグラウンドの方々、ちが

つた職業等、現在においても過去においてもそういう問題もち、悩みをもつている方々でしたが、それにもかかわらず、表情が生きて生きているので自分が目的のない生活をしていようとを恥かしく思ひました。

コーで、ラオスの方で祖国を失われた方々から貴重な体験のお話をきくことが出来ました。MRAに出あつてから人を憎むことをやめ、自分がチェンジして、その経験に基づいて同じ境遇にある人を精神的に助けることに道を見出していらつしやいました。このような方々を通じてMRAを身をもつて知ることができたことを本当に嬉しく思つております。

榎たか子さん

今年四十三名とごいっしょにコーに参加させて頂きました。フランク・ブックマン博士の考えていることが、コーで、世界の多くの人々の熱心な心で実行されていること、また見る事ができて感謝です。ブックマン博士は日本はアジアの灯台であるとおっしゃいましたし、また目的を持たないものは大変弱いコミュニニストは目的を持っていくからどんな苦難な道でも歩い

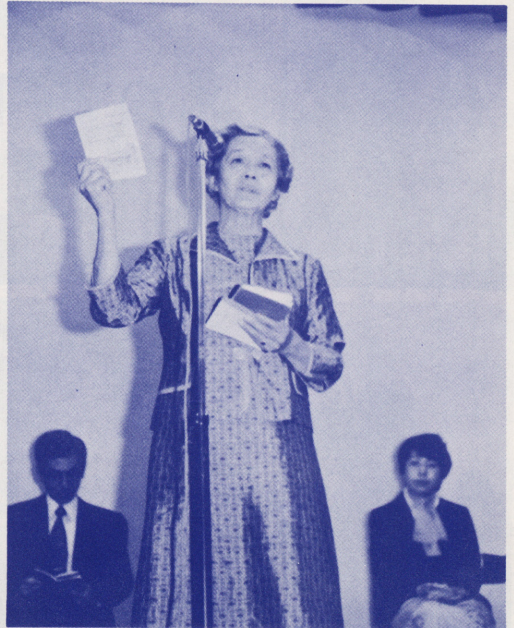
MRA 全国大会アルバム

左上より

1. 大会に先立って開かれた常任理事会で右より十河顧問、柳沢理事長、滝山常任理事
2. 催女史(中央)より十河顧問にお土産が……
3. 挨拶にたつ千葉三郎副会長
4. 田村氏(石川島播磨重工)は労働者の手で作った「一粒の麦」の確信をいま一度と語った(第二部懇談会で)



MRAの書籍と最近の情勢について語る相馬雪香氏



住友義輝夫妻の司会で大会は運営された

スピーカの決意は参会者にも伝わっていく





新しい決意を語る三井高維夫妻



若い力を感じさせた茨城代表（中央は狩野さん）

金森奈津子さん

飯田やい子さん

河原亮三郎氏



兼松 正氏



榎たか子さん



藤森さん親子



今井正明氏



懇談会でも決意が表明され熱気に溢れたものになった

ていく、お前たちも目的を持たなければいけないと言われて、今、日本が世界のどういう立場に立っているかということを考えながら、真剣に将来のことを考えなければいけないと思っただけで参りました。その時に出席した方の意見をきいて見たいと思います。

藤森ひさ子さん

五年前にコーに行き、今度で二度目です。すばらしい歓迎をうけ、心に残ることを沢山頂いてかえりました。幸せ者です。主人も一度コーに行き、息子もお世話になりました。息子は大学卒業後、主人の会社に入り、甘えがあつて、甲斐性がない、私が育てる時は、一にも健康、二にも健康ということで、体が丈夫でなかつたら家庭をもつて幸せにはなれないと思つて育ててしまいました。いい子に育てたつもりでしたが、会社に入った途端に主人に叱られ通じで、お前が過保護に育てたからだというので、英和は名前も呼ばれないようになってしまいました。デコスケだとさいうことで、会社に行つても役に立たないというフダつきになってしまった時、神先生からMRAで修行さ

せたらということでも私もいつも主人と息子の間で悩んでいましたし血圧の低い私が、どんどん下るばかりでなかなか健康になれませんでしたので二週間という予定で出かけたのですが、これなら勉強になるという息子の願いで二年間お世話になりました。大変立派に仕込んで頂いて、今日主人にも喜んでもらえるようになりました。MRAの何かある時には参加させるという条件を主人も納得致しました。今回、私が行く時も、体が弱いから荷物もちに英和をつれて行つてもいいよ、ということ、こんな有難い旅行は無かつたのです。若い方々がMRAに参加させて頂くことは大変によいことだと思います。

この前行った時には、みんな多くの方が自分のことを考えないで、人の為、他の国の為に献身している姿を見て感心してかえつて来たのですが、今回は人に指ささないこと、人を指したら自分も指されるということ、それじゃ人を指さなければいいのだらう、人を指さないにはどうしたらいいのか、やはり、相手の立場に立つてものごとを考え、よく解釈したりして、相手

が、常識外れのようなことをしても、私にもそういう心があるから、そういう欠点があるから、人がそれを見せてくれているのだから、わがふり直せで、直せばいいんだ。というような自己満足の気持でおりましたところ、今度、向こうへ行きまして無関心でいることは罪悪につながるといふことが頭に残りました。

人を指さないだけでは向上がなく、自分が感じたことを、反省しながら相手に気持よく伝えて直していこうという積極的にならなければならないことを教えられました。私にも友だちが沢山いますのでMRAを知らない方に一人づつ話をさせて頂こう、たとえ二時間三時間かかっても、その時間はちつとも惜しくなく語りつづけているような状態でございます。

藤森英和さん

私も父とは上手くいっていないかつたので、家の中でも仕事の間でもよくけんかをしていました。その時に、父も人間ですから、いろいろ欠点がありまして父に指さしていたのですが、機会を得て、インドのパンチガニのMRAの大会に出席をしたのですが、ソングオブアジアを

見ているいろいろ感じたところがありました。友だちといろいろ話している間に父のことを洗いだらい、わるいことをのべ立てた時、友だちがたつた一言、「そういうあなたは何なのだ」といった時、非常にショックをうけました。よくよく考えて見れば、自分は神さまか何かになつて、相手のことばかり指さして、自分のことを全然見向きもしなかつたことに気づきました。それで自分ももっと学ぶところがあるのではないかと思つたのです。

その中で一番印象に残つたことは、MRAというところとよく宗教とかわれがちである辞書にはそのように出ているように誤解されています。行つて見て感じたのは決してそうではない。私が行く時も四つの絶対標準のことばきいて、そんなの自分には向かないから、それは一寸別にしておいて、インドを見ようと思つていったのですが、やはり、今になって見ますとこの四つの標準が必要だということです。というのは、世界中にはいろいろな宗教があります。仏教、キリスト教、回教、ヒンズー教といろいろありますが、それらの宗教をのり超えて人間がお互いが理解し合つて融和して行く上には何か一つの道しるべという基準がなければいけないわけです。その基準になるのがこの四つの基準ではないかと思うのです。私たちはうっかりするとこのMRAの目的が、四つの基準を達成することのように考えていますが、やはりMRAの目的はよりよい世界をつくるという一言につきるのではないかと思います。それはよりよい世界をつくる為の基準になるのだと思います。何かことがおこつた時、例えばロッキード、その場合、この基準に照らし合せてそのことがいいのか悪いのかわれわれ自身にしても、政府高官だけをつきあげていて、私のように自分のことは考えて見なかつた、例えば私もMRAに行つて誰もたばこを止めろとは言いませんでした、しかしやめたのは、たばこは体にわるいということが分つていて、やめなかつた。ロッキードの高官にしても汚職するのがいいとは思っていないでしょう。悪いと思つていてやる。大きい小さいはあるけれど、心の動機は同じだということに気がついて、われわれ日本人の一人一人がわるい習慣

を除かなければ、決して日本の新しい将来はない、と同時にブックマン博士が言ったように日本がアジアの灯台になるためには、そのようなチェンジをしなければ、そのような資格は得られない、ということ強く感じて、二年間勉強させてもらって今に至ったわけです。至らない私ですが、皆さんといっしょに新しい日本、新しい人間を考えて歩いていきたいと思えます。

神たか子さん

今年、埼玉の県会議員、自民党の方の奥さま三人が私といっしょにコーに参りました、松下さん、おくのきさん、飯田さんが、そのような会なら家内をつけて行ってくれということ、普通ですと自民党と社会党大変あわないわけですが、私は党ではない人だと、社会党にも問題はあらず、自民党にもあるのですから、しかし、党を運営するのは人ですから、人が力を合せてきれいな心でやれば日本の国はよくなると思うので御一しよしました。

飯田やい子さん

昨年八月私の主人を含む三名の県会議員の欧米視察団はジュネーブからコーのMRAの本部

へ参加しました。来年は女房をこさせてやろうと神先生に申したのがもとで、今年は神先生のお骨おりで、夢にも考えていなかったヨーロッパの旅を、MRAの世界大会に出席できました。わづか十五日間ではございましたが、いつまでも忘れ得ない楽しい思い出で、感謝に耐えませぬ。ジュネーブから百キロ、一時間三〇分美しいレマン湖に面するロザンヌ、青い湖水にはえるシオン城を見下しながらわ中腹に、MRAの本部がありました。日本の小さな旅館しか知らない私には、西洋のおとぎ話に出てくるような立派な建物、そして、世界各国から集まった人びとが五年も十年もつき合った人のように何の気づかいもなく楽しくお話しあつて、自分の意見を發表し、共に食事をする姿に、はじめは戸迷いましたが、なれるにつれて、ことばが通じなくても、通じあう心を感じました。幸に優秀な山崎先生が通話をして下さつて、今考えると何をお話ししたか考えられないのですが、人の前でお話をしたことのない私が外国の人の前ではじめておしゃべりしてしまいました。絶対の正直、絶対の純潔、絶対

の無私、絶対の愛、このスローガンの下に、民族、人種、宗教男女の性のちがいが、年令を忘れて共同生活を生きて行く。せまい日本、しかも小さい町から外に出たことのない私、主人は十三才から選挙で、二十年間その間農作業を一手にやり、三人の子供を育ててきた私には、いようなない苦しみがあり、ある時は泣き、ある時ははくやし涙であふれることもあり、ガマンしてきた私は抵抗を感じました。絶対の正直であれば、ウラをかけるし、絶対無私であれば乗ぜせられるし、絶対の愛であれば、人は悪意でだまそうとしませんが、絶対の純潔であれば、住みにくいいろいろの反応があり、長い間の体験で抵抗しましたが、いる間にだんだんと理解出来るようになりまし。私のかたくなな心を暖かく大きな転かんと感じさせてくれました。今仲々上手にいうことはできませんが、私は自分の気持を大きな見方、大きなものの考え方に変えようと努力しています。神先生がもう一度御案内頂ければもつと上手にいえるようになれると思います。その為にこの一年間、主人のために家族のために奉仕し

て周囲の人に来るだけ暖かく、善意の一日一日をすごしたいと考えております。

司会 (住友美子氏)

兼松さんはめぐみさんのお父さまで。めぐみさんはソングオブアジアですつと旅行され、カナダからアメリカに渡り今はブラジルにおられます。兼松さんはめぐみさんからのお手紙を通して、あまりにも成長されたのを感じ、ぜひMRAを知りたいということ今年コーに行かれました。一カ月間のコーに滞在になりました。

兼松 正氏

山崎さんのご紹介で三番目の娘がコーに参りましてソングオブアジアのメンバーとして二年余になります。時々のたよりを通しまして非常に変つて参りました。一番の末娘が一番甘えておりました。しかも大学を出てそのままヨーロッパへ参りました。何も知らない娘がこの二年余を通して非常に人間的に成長したばかりでなく、非常に育つてきた。そのことを私は感謝したので。それでMRAが理論でなく実際にどのように運営されているか、どういう人々が集

のか、それをこの目で見、聞き、体験したい、そういうような願いで一カ月行つて参りました。

一人で参りましたが、本当に素晴らしい体験をさせて頂いたと喜んでるわけです。かえりましてからブックマン博士の書かれた本を研究しておりますが、読めば読むほど本当にただ単に特定の宗教に限られない全世界の善意を信じる人々が心から一つになれる団体である。いわば人間革命であり、民族革命であり、全世界の革命につながる、神を中心とした素晴らしい運動体であることを感じさせられました。及ばずながらこのMRA精神のつとつてお役に立ちたい、その気持で一ぱいでございます。

司会

コーの大会は毎年二カ月位開かれます。その中にいろいろなグループの会があつて、例えば芸術家のための会であるとか、青少年の会とかございますが、特に大切なのは産業人のための会というものが毎年一週間位開かれます。日本の産業人のために責任をとって頂きました東芝機械の相談役の河原さんを御紹介致します。

河原亮三郎氏

今年八月の末から九月のはじめにかけて、正味五日間コーで産業会議が開かれました。私その日本の代表として登録をされておりましたが、いろいろの事情で出席ができず、同僚であります東京電気の常務の鈴木睦二君に代りに行って頂きました。産業会議は、世界中から約百五十人、著名な人ではオランダのフィリップさんをはじめ、各国の産業会、労働組合関係者が約百五十名集って熱心な討論が行われたようであります。今日、鈴木君がみなさまにその模様を御報告申上げる苦であったのですが、急に会社の用でどうしても出られないので欠席しております。つきましては私に代りに一言しゃべれということ、報告書がありますが、これはいづれニュースにのせることとして、私は、折角のついででありますので一言ご挨拶を申し上げますが、私は今からもう二十三年も前、一九五三年には日本の各界の人十四、五人の人と一しょにコーに行ったわけであり、私はMRAなどはチンパンカンブン何にも分らずにただ、先の経団連会長石坂泰造、私が東芝

における時の社長でございます。

終戦後大混乱に落入った東芝の労働関係を私が担当することになりました時に、「コーに行つてこい」といわれました。「コーは一体何ですか」というと、「ともかく一辺行つてこい」と、こういうことで行つたわけで三週間滞在を致しました。その間いろいろなことにつかりました。先程どなたからお話がありましたMRAは自分がよくなることでなくて世界をよくするという基本的な精神があるというお話もございましたが、私は当時、MRAの教えの中によいオムレツはくさつた卵からは出来ないという話をよんだことがありますが。やはりよいオムレツ、よい世界は個人がよくならなければ出来ない、その個人、当時大混乱に落入つていた東芝の労使関係も、まづ自分が一つものにならないことには話にならないという方向で、私はかえつて参りました。それからMRAで大会中に教わつたことをそれからそれへと研究、という大げさですが、重ねまして、それからもう二十年になります、まづ東芝の労働関係が整然とした。現在では、私は日本の代表的な

労資関係にあるのではないかと思っておりますが、そういうものが出来上りました。私自身もMRAに教わつた精神にのつて、自分の精神をコントロールするということを、出来るだけ努めております内に、私は本年とつて七十六才になりましたが、まだ若い者に負けないピンピン致しております、日本の労働問題の混乱のつぼの真中

におります中央労働委員会の使用者代表委員として私は去年でもう二十年つとめてきました。こういうことを、くつたくなしに、ああいうところで生きられ、そして多くの出入りする人に何かを与えることが出来たとすれば、私は、それはすべて一九五三年にコーに三週間滞在した中に教わつたことのためものでありと今固く信じております。一つのコンヴェイクションが、われわれの生活にいか様に影響を与え、従つて、近所となりによいような影響を与えるかということは火を見るより明らかであります。私は、そういう意味で、御恩に報いる為この道に精進致したいと、こう思っております。

催玉子博士（韓国首都女子師範大学院院長）

私は今回、日本のMRA全国大会に出席できましたことを心から感謝しております。

一九五三年でしたか、私はアメリカへ教育の視察に参りました時、ブックマン博士にお会いしました。MRAの何をも知らない私に博士は、「韓国はアメリカを教えることができる」といれました。当時の韓国は動乱のすぐ後で、経済的にも貧しく、その言葉を理解することができませんでした。

日本は私たち韓国の隣国であると思いません。身うちだと言わせて下さい。韓国と日本はフランク・ブックマン博士の呼びかけに応じて、新しいアジア、新しい世界の建設のためにも協力し、民主主義の基盤を強めるために貢献いたしましょう。

三井英子さん

私は現在主人が三十六年前に創立しました啓明学園の寮生のお世話をしております。初等科一年から高校三年までの男女の生徒を約七十名ちかくおあづかりしております。いろいろ心配な事があつて夜も寝られない事

も何度かありました。この夏コーで教育についての会議がある事を聞きぜひ出席させていたいただきたいと思主人と二人で十年目位でコーに行きました。第一に感じた事は世界家族の中に加えていただいた事で日本にいてはともお目にかかれないアフリカ、中近東の方々に直接お話を聞く事が出来、目と心を聞かせていた頂きました。古い友達にも大勢お会いし彼等が困難を乗り越え反省に反省を繰り返す、しりぞかない姿に心からうたれました。人をおそれず、頼らず神に聴き従う姿を見ました。ラオスの元の外務次官御夫妻から身の危険を知らされ御一家で着のみのまま逃げて来られたいろいろの経験をうかがう事が出来、心をゆさぶられました。正しいと思つた事は恐れず確信を持って大声でいえ、チェンジの経験を臆さず活せとじつと私の目を見て願うようなお気持ちでつて下さいました。私は学校のためMRA精神を生かしているといっていました、自己中心であつた事に気がつき、そのコストを深く感じております。私は新しく決心して再出発したいと思ひますので自己中心であつ

た事を許していただき今後とも
よろしくお願いいたします。

三井高維氏

今年の夏、コーの世界教育者
会議に出席しましたが、かつて
ブックマン博士から「お前はこ
のブックマンに頼らずに神の意
に頼れ」と云われたことがあり
ます。今度コーでそのことを皆
が実現しようと努力しているの
を見ました。これが教育者にと
って如何に重要であるかという
強いチャレンジを受けました。
先生方はそして神に献身した頭
(head) 心 (heart) 手 (hand)
の3Hが教育の根本であるとい
うことを痛感しました。

また二十年程前ブックマン博
士は日本人チームのわれわれに
向って「日本の真の問題は赤い
イデオロギー（共産主義）では
なく、汚職と不純潔だ」と話さ
れましたが、正に現在の日本の
状態は「日本はアジアの灯台と
なる」べきヴィジョンを忘れた
かのようであり、これはわれわ
れ一人一人に課せられたバイブ
ルに「淨き心のみ神をみるこ
とができる」とありますが、この
神意を体して世界というものを
基盤にしてものを考えることが
教育者の根本でありましよう。

メッセージ

スイス・コーMRA本部
日本MRA全国大会をお
祝い申し上げます。人間の利
己心と不正との所産である
世界の問題は、いかなる国
大陸といえども独自では解
決できない。西欧の社会は
道義的妥協のもたらす混乱
利己的な目的もたらす社
会の腐敗の現実に直面しな
ければならない。自らと自
国のあり方を正すとき、明
析な判断が得られる。
自由社会に生きていく我
々は、自由を脅やかされて
いる国や、すでに失った国
の人たちのことに心を配ら
なくてはならない。健全な
民主主義を育てる方策を考
える必要もあろう。
MRA国際勢力に参加し
ている日本の青年諸君の活
躍に感謝する。

メッセージ

日本とアメリカのMRA
のために共闘する。民主々
義が健全に育つためには、
道義を基盤とすることが必
要である。

ジョン・ムーア

MRA理事長

ジョン・タイガート

財務理事

フレッド・スモール

港湾労働組合

ハリー・アワモンド夫妻

スチュアート・スミス夫
妻

妻

マーガレット・スミス

ダンカン・コリラン夫妻

ゴードン・ワイズ夫妻

メッセージ

全国大会に際し御祝い致し
ます。

人間の間違つた動機の所
産による世界の行きづまり
は清らかな心によつてのみ
打開できる。伝統ある日本
の神々の心は世界が求めて
いる慈しみと恵みとを与え
るであろう。

キム・ビーズリ（オース

トラリア国会議員前文

部大臣）

◎事務局よりお知らせ

当協会の趣旨、運動にご賛同
され、さらに内容その他につい
てお知りになりたい方、入会の
申込みをされたい方は、どうぞ
左記事務所へお申出下さい。
年会費は左の通りです。
個人正会員 一口五千元
個人賛助会員 一口三千元
法人会員 一口五万円
なお会員の方で今年度の会費未
納の方は御送金下さい。